

品が必要かを常に考えていきたい。

課題ですね。」と語る柴沼さんの目は輝いていた。

一生涯つきあわないといけな、何をすべきか、どういう商

たとお客さんに満足してもらうため、

今後の目標は、

も違う。何より木独特の香りがするんです。」と胸をはる。

おいしさの追求だそうだ。「おいしかった、よかっ

職人の手間ひまがかかっている醤油はカドがなく、甘味、

## **●柴沼醤油醸造株式会社 製造管理本部長●**

がよければ、値段に関係なく価値を認めてくれた。」と、 がなく、なんとなく醤油を造っている感じがした。」と実家に戻っ 家で働き始めた柴沼さん。 口にする。近い将来、海外旅行で飲食店に入った際に、柴沼醤油 2』に茨城県内で唯一の出店を果たした。「香港の人は、 秋にはスイーツ商品も販売予定だ。 などに取り組んだ。 にかく3年間は商品を出さなくていい。」と社員に告げ、 **た際の印象を語ってくれた。** ここから柴沼さんの挑戦が始まる。 る。 海外でも、8月に香港で開催された『フード・エキスポ201 土浦で300年以上続く老舗醤油醸造所に、 新商品3品を発売。 大学を卒業後、 そして、 約7年半の会社勤めを経て、 「醤油の幅を知ってもらいたい。」と、今 「老舗の看板を背負っているとの自角 社員の変化を感じた柴沼さんは今年 「売り上げが落ちても、 新 4 年前から実 風が吹いて 手応えを 意識改革 味と香り



# 「"**おいしさ"を求めて」** 柴沼 秀篤さん <sup>(虫掛町)</sup>



そして土浦の文字を目にすることが増えるかもしれない。

もちろん伝統も大事にしている。

多くの醸造所がステンレス釜

などでの製造に切り替えるなか、今でも木桶での製造にこだわる。

秋も深まり、さわやかな季節となりました。今回は、 秋の味覚「鮭」を使った料理をご紹介します。

鮭には、カルシウムの吸収を助ける働きのあるビタミンDが多く含まれます。今回のメニューでは、チーズをプラスすることで、「鮭のビタミンDとチーズのカルシウム」という、相性のいい組み合わせとなっています。また、かぼちゃ、いんげんを添えることでお皿全体が彩りよく仕上がります。

「実りの秋」、「食欲の秋」を美味しく健康に過ごしましょう!

# 

生鮭	4 切	【添え物】	
酒	大さじ 1	かぼちゃ	300 g
ベーコン(薄t	切り) 4枚	いんげん	20 g
小麦粉	適量	サラダ油	小さじ 1
サラダ油	小さじ1	カレー粉	小さじ 1
粉チーズ	大さじ 1	塩	小さじ1/2
レモン	1/8個	こしょう	少々

#### 作り方

- ①鮭は薄い塩水で洗い、骨と皮をとって酒をかけておく。 ②かぼちゃといんげんは、ゆでて水気をきっておく。フライパンにサラダ油を熱し、かぼちゃといんげんにカレー粉、塩、こしょうで味をつける。
- ③①の鮭に小麦粉をまぶし、ベーコンをやや斜めに巻く。④フライパンにサラダ油を熱し、巻き終わりを下にして
- 焼く。 ⑤両面を焼き、鮭の色が中まで変わり、ベーコンが縮ん だら粉チーズを振りかける。
- ⑥皿にあげ、添え物を盛り付けて、最後にレモンをしぼる。

### 1人分の栄養素

エネルギー 355kcal たんぱく質 27.3g 脂質 16.1g カルシウム 55mg 食物繊維 3.7g 塩 分 1.2g

